

令和8年度東京農工大学「J-PEAKSプロドクター・フェローシップ」 【J-PEAKSライジングフェロー】申請書

1. 【履歴等】 (1頁以内に収めてください)

(フリガナ) 対象学生氏名	()	アルファベット表記の氏名	
学籍番号		国籍	
学生連絡先	携帯番号： e-mail (1) (学内のメールアドレス)： e-mail (2) (大学外のアドレス※)： ※大学から配布されたメールアドレス以外を記載してください。 各種調査等の連絡先として利用します。		
所属 (R8. 4. 1時点の予定を記入)	所属：東京農工大学大学院 (研究科・学府) 専攻 所属研究室：_____ 受入教員名：_____ 受入教員内線：_____ 受入教員 e-mail：_____		
貢献するJ-PEAKS事業 (各事業の概要はP4の【参考】を参照のこと)	☐ 研究力強化 ☐ 研究の国際展開・国際連携 ☐ 研究マネジメント強化 ☐ 豪州事業・SAF事業 ☐ ハワイ事業 ☐ GIR機能強化事業 ☐ 三大学機構機能強化 ☐ 共創拠点事業 ☐ TUATDejima事業 ※複数選択可。事業の概要は参考資料のとおり。		
J-PEAKS事業によるRA雇用の支給予定額	①単価1,700円×②任用予定時間数 () 時間 = ③支給予定額 () 円 ※RA雇用時間数が全体で上限を超えないか確認するため、本事業と別に雇用予定のRAがあれば記載ください。 (雇用財源：) ①単価1,700円×②任用予定時間数 () 時間 = ③支給予定額 () 円		
当該学生のJ-PEAKS事業への貢献内容			
学振特別研究員(DC)への応募状況	☐ 応募 () 年度採用分 ☐ 未応募 ※応募実績有の場合は、採否結果通知の写しを添付。		
修了後の進路予定	アカデミア/研究機関/起業/官公庁/企業/NPO・NGO/その他 (希望する進路を一つだけ選択し、希望する進路以外は消去して下さい。その他の場合は具体的に記載してください。)		

上記内容に相違ありません。

令和 年 月 日

指導教員氏名：_____

2. 【研究計画内容】

研究課題名	「タイトル」
-------	--------

- ・ 次のポイントに沿って、研究計画内容を記述してください。①研究背景、② 研究目的、③ 研究の年次計画、④ 研究の尖端性、独創性、⑤ この研究による学術、科学技術、社会などへの波及効果。
- ・ 各事項の字数制限はありませんが、3頁以内で記述してください。
- ・ 適宜概念図を用いるなどして、わかりやすく記入してください。
- ・ 分野の異なる審査員にも理解できるように記載して下さい。
- ・ 研究計画は、博士課程在籍中の全期間（D1～D3（共同獣医学専攻の場合はD4））にわたる内容を記載してください。

3. 【学業・研究業績】

※下記の項目について申請者が中心的な役割を果たしたもののみ、項目に区分して記載してください。その際、通し番号を付すこととし、該当がない項目は「なし」と記載してください。申請者名にアンダーラインを付してください。

- (1) **学術雑誌等に発表した論文、著書**(査読の有無で区分して記載してください。印刷済及び採録決定済のもののほか、投稿中、審査中のものも記載できますが、投稿準備中のものは除く。)
後ほど、投稿済みであることを証明できる受理通知などの控えの提出をお願いすることがあります。
著者(申請者を含む全員の氏名を、論文と同一の順番で記載してください。)、題名、掲載誌名、発行所、巻号、pp 開始頁—最終頁、発行年をこの順で記入してください。
- (2) **学術雑誌等における解説、総説**
- (3) **国際学会等における発表**(口頭・ポスターの別、査読の有無を区分して記載してください。)
著者(申請者を含む全員の氏名を、論文等と同一の順番で記載してください。)、題名、発表した学会名、論文等の番号、場所、月・年を記載してください。発表者に○印を付してください。(発表予定のものは除く。ただし、発表申込みが受理されたものは記載しても構いません。その場合は、＜発表決定＞と記載してください)
- (4) **その他学会等における発表。**
(3)と同様に記載してください

【原著論文】

(査読有り)

- 1) [Noko H, Koganei T](#), … 「(題名)」、『(雑誌名)』、○巻、pp57—62、2020
- 2) [農工花子](#)、[小金井太郎](#)、… 「(題名)」、『(掲載誌名)』、○号、pp57—62、2020

<採録決定>

(査読無し)

- 3) [Noko H, Noko H, Fuchu J](#)… 「(題名)」、『(雑誌名)』、○巻、pp57—62、2022

【学術雑誌等における解説、総説】

(査読有り)

- 1) [農工花子](#)… 「(題名)」、『(掲載誌名)』、○○出版、○号、pp57—62、2016

(査読無し)

- 2) [府中治郎](#)、[農工花子](#)、… 「(題名)」、『(掲載誌名)』、○○出版、○号、pp57—62、2016

【国際学会等における発表】

(口頭発表 査読有り)

- 1) ○[Noko H, Koganei T, Fuchu J](#)… 「(題名)」、『(学会名)』、BB-11、Los Angeles, USA、(June 2015)

<発表決定>

(口頭発表 査読なし)

- 2) ○[Noko H, Fuchu J](#), … 「(題名)」、『(学会名)』、BB-11、Hawaii, USA、(Dec 2020)

(ポスター発表 査読なし)

- 3) ○[Noko H, Kobatake H](#), … 「(題名)」、『(学会名)』、BB-11、London, UK、(June 2020)

【その他学会等における発表】

(口頭発表 査読無し)

- 1) ○[農工花子](#)、[小金井太郎](#)、… 「(題名)」、『(学会名)』、No.200、仙台、2018 年9月

【その他の研究活動上の成果(受賞、特許、著書等)】

なし

【参考】J-PEAKS事業の概要

- ☐ 研究力強化
国際イノベーション創出するための研究力強化として、「Top10%論文数の増加」「Q1ジャーナル論文数増加」を目標に研究を推進する。
- ☐ 研究の国際展開・国際連携
研究を海外展開し、国際イノベーション創出を目標に研究を推進する。
- ☐ 研究マネジメント強化
研究支援人材（URA等）を目指し、「研究に関する情報収集、分析、研究戦略の企画立案及び研究戦略を実施するためのマネジメント」「プレアワード、ポストアワードにおける研究プロジェクトの企画立案、管理・調整・評価等の研究プロジェクトのマネジメント」「企業等との共同研究の推進、スタートアップの支援及び知的財産の戦略策定・管理等の産学連携・知的財産マネジメント」に関する観点をもって研究を推進する。
- ☐ 豪州事業・SAF事業
ボンガミア栽培による安定的なSAF供給の実現を目指し、高収量・省力型の栽培体系の創出やDX、これらの知見を他地域への応用・実装する研究を推進する。
- ☐ ハワイ事業
ハワイ諸島での食料問題解決や復興支援に向け、IoT灌漑等の技術を実装した食料生産、農業振興に貢献し、地域の環境や文化に適した農業に関する研究を推進する。
- ☐ GIR機能強化事業
国際社会での課題解決力と成果実装力の強化の観点をもって研究を推進する。
- ☐ 三大学機構機能強化
電気通信大学・東京外国語大学との教育連携を基盤として、文理協働による国際社会実装研究を推進し、インド太平洋地域での社会課題解決に資する研究を推進する。
- ☐ 共創拠点事業
アグリテック・フードテック分野を中心とした産学官連携・スタートアップに資する研究を推進する。
- ☐ TUATDejima事業
地域の環境や文化に適した農業に関する研究を推進し、ハワイ諸島での食料問題解決や復興支援に向け、IoT灌漑等の技術を実装した食料生産、農業振興に資する研究を推進する。